



おいしさで・しあわせをつくる

ダイショー



おいしさで・しあわせをつくる



第55期

中間株主通信

2020.4.1～2020.9.30

株式会社ダイショー

証券コード：2816



代表取締役会長 CEO
松本 洋助



取締役社長 COO
阿部 孝博

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第55期・第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)の事業概況をご報告させていただくにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛が広まり、巣ごもり消費の需要から生活必需品である食品消費が拡大する一方で、新たな社会環境への不安が従来からの消費者の生活防衛意識や節約志向を加速させるとともに、食の安全への希求が一層高まるなど、社会変化にともなう課題が山積する経営環境が続きました。

こうした状況のもと、当社は、2022年3月期を最終年度とする中期経営計画に沿い、「収益力の高い主力ロングセラー製品の拡販による原点回帰」および「新時代における持続的成長を目指す事業活動」に注力し、業績の向上を目指しました。

以上の取り組みの結果、当第2四半期累計期間における売上高は、106億70百万円(前年同期比107.1%)となりました。利益につきましては、営業利益は4億89百万円(同448.8%)、経常利益は4億96百万円(同292.8%)、四半期純利益は3億28百万円(同322.6%)となりました。

なお、中間配当につきましては、前年同期と同額の1株当たり9円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Q 第55期中間決算および上期の取り組みへの評価をお聞かせください。

液体調味料群は、主力製品の販売に経営資源を集中し、一層の拡販に努めました。そうしたなかで、新型コロナウイルス感染症の拡大により、消費者が外食を手控え、家庭内で食事をとる機会が増加し、小売用製品の需要が拡大しました。特に、『秘伝 焼肉のたれ』『博多もつ鍋スープ』『キムチ鍋スープ』といった主力ロングセラー製品が売上を伸ばしました。また、鍋スープ類につきましては、商戦ピークの秋・冬季の拡販のみならず、通年製品化への取り組みを強化しました。通常の鍋に比べ気温の変化による消費の影響を受けにくい「しゃぶしゃぶ」に着目した『しゃぶ鍋』関連商品ラインアップの大幅な拡大もその一例です。また、「夏鍋」をテーマとした販売促進を展開し、夏野菜メニューやスタミナメニューの提案、ウェブCMの展開、インスタグラム投稿キャンペーンを実施しました。業務用製品では、新規開拓

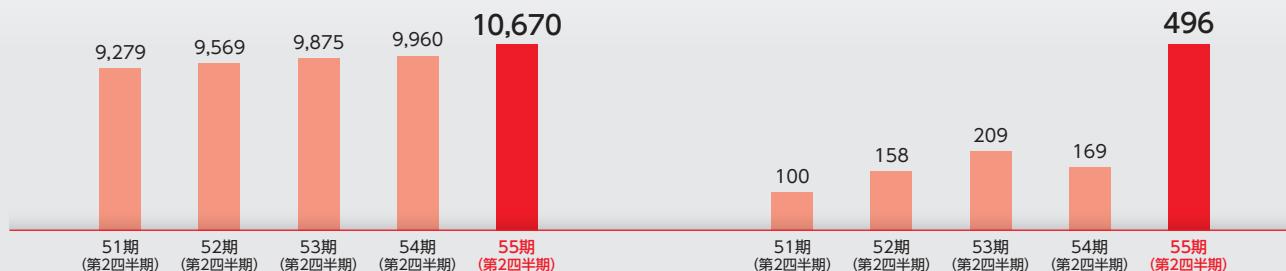
への取り組みを継続し、内食市場の拡大も奏功し、精肉向けソースが売上を伸ばしました。

粉体調味料群においては、主力製品である『味・塩こしょう』シリーズが詰め替え用を中心に好調に推移し、リニューアルした『もちもちねぎチヂミの素』や、主力製品の『きのこがおいしい!アヒージョの素』が大きく売上を伸ばしました。

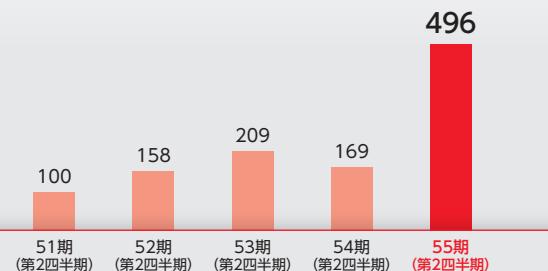
その他調味料群においては、新製品『ぱくぱくキャベツ用セット』が売上を牽引し、新たに『コバラにうれしい 5つの味のスープはるさめ』の投入により、ラインアップが充実した「スープはるさめ」類も好調に推移しました。

コロナ禍という未曾有の経営環境のなか、2年目を迎えた中期経営計画から、「主力製品の集中販売」と「新製品の開発」という2つの営業戦略の達成に向けた開発・営業チームの地道な種まきと、需要の急拡大局面でフル稼働を維持してくれた工場スタッフの頑張りが実を結んだ上期だったと評価しています。

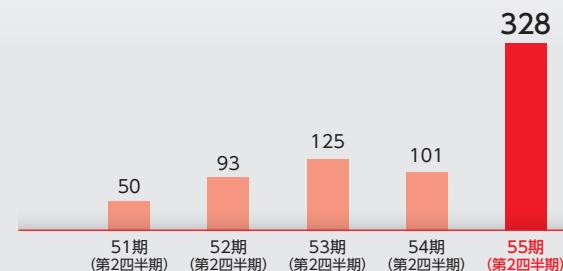
売上高 | 単位:百万円



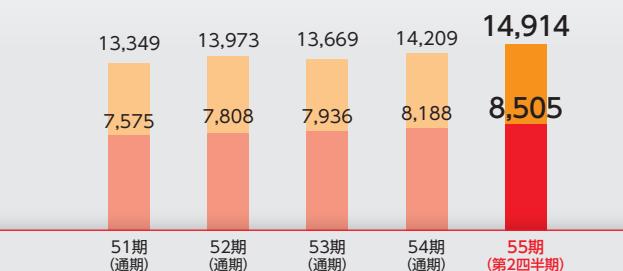
経常利益 | 単位:百万円



四半期純利益 | 単位:百万円



総資産/純資産 | 単位:百万円



Q 下期の見通しおよび株主の皆様へのメッセージをお願いします。

新型コロナウイルス感染症の今後については予断を許さないものの、すでに国内は「共存ステージ」に入っており、「新しい生活スタイル」の普及とともに、「内食」へのシフトを含む、コロナ禍以前とは異なるライフスタイルが定着していくものと考えられます。それにともない、既存のライバルメーカーや業務用プレーヤーの小売市場への参入など、競合環境が変化する可能性も否定できません。また、お客様の生活防衛意識や節約志向、食の安全への要求も一層強まるものと予想されます。さらには、少子高齢化による国内市場の収縮、ネット販売市場の拡大などの流通の変化、お客様の価値観の多様化など、数多くの課題への対応を求められています。

当社は、中期経営計画2年目の主目標である「主力製品の集中販売」「新製品の開発」に下期も引き続き注力しつつ、「攻めと守り」のメリハリのある経営で激動する環境に対応してまいります。

「主力製品の集中販売」では、気候変動により暖冬の頻度が増し、主力製品がピークシーズンの秋冬に伸び悩むということ数年の傾向を踏まえ、来年で発売30周年を迎える『博多もつ鍋スープ』に代表される「鍋スープ」群の通年商品化への取り組みを進め、「売上の平準化」という経営課題へのチャレンジを加速させます。

また、成長市場である惣菜工場向けを筆頭とする「業務用調味料」市場の開拓に注力し、スーパー、ドラッグストア、

コンビニエンスストアなど販売チャネルごとの専任部署によるメニュー開発・提案という当社の強みを活かしてラインアップの拡充に努めます。さらには、少子化による国内市場の収縮に対応すべく、日本食の広がりという世界のトレンドを踏まえ、海外販売体制をさらに強化し、売上の拡大に努めます。

また、お客様の食の安心・安全、健康への意識の高まりに対応すべく、「糖質オフ」や「機能性表示食品」に加え、新投入した「ロカボマーク」表記製品など、新市場の開拓も加速させてまいります。

中計に掲げた「次世代の組織づくり」につきましては、選択と集中を意識した営業組織の見直しを進め、「権限委譲」と「率先垂範」をベースとする組織マネジメントの構築や、「働き方改革」など、経営の効率化と生産性の向上をさらに追求してまいります。

第55期通期の業績見通しにつきましては、売上高220億円、営業利益8億50百万円、経常利益8億50百万円、当期純利益5億30百万円を予想しております。

今後もダイショーの経営理念である「おいしさ・しあわせをつくる」を価値創造の基本としつつ、当社の強みである開発力と提案力を研ぎ澄まし、お客様・お取引先各位との信頼関係を大切にしながら全社一丸となり、事業のさらなる成長と業務の一層の効率化に努めてまいります。



#ダイショー×SNSキャンペーン

当社では、Instagramやtwitterを通じて、「おうちごはん」をご家族やご友人と楽しむシーンや、アレンジ料理の写真をご応募いただいた方に商品をプレゼントするSNSキャンペーン4種(2020年4月～2020年10月)を実施いたしました。

たくさんのご応募ありがとうございました!

焼肉のたれ Instagramフォトコンテスト

(2020年4月15日～5月15日)



#やっぱり焼肉
#焼肉だけじゃない

おうちでサラダコンテスト Instagramフォトコンテスト

(2020年5月1日～5月31日)



#うれサラ
#パリパリーイ

ダイショー×こびとづかん 『夏は夏鍋!キャンペーン』

(2020年7月15日～8月15日)



#夏は夏鍋
#ダイショー夏鍋

発売10周年! 華麗なカレー鍋キャンペーン

(2020年10月1日～10月31日)



#華麗な1枚
#ダイショーカレー鍋



お鍋×しゃぶしゃぶの新おうちごはん **しゃぶ鍋**

お鍋としゃぶしゃぶの魅力を1つにした「しゃぶ鍋」は、つけだれにつけることなく、そのまま手軽に楽しむことができます。

野菜もたくさん摂取することができ、お肉もさっぱりと食べることができます。スープが絡んだお肉とお野菜のおいしさは格別で、「おうちごはん」が盛り上がること間違いなしです。

うまみがたっぷりの鍋あとスープで作るメのアレンジも楽しみのひとつです。



爽やかな「柑橘系スープ」とトレンドの「発酵系スープ」

ゆずしゃぶ鍋用スープ 麴しゃぶ鍋用スープ

『ゆずしゃぶ鍋用スープ』は、「だし×柑橘×肉」のもと、国産ゆず皮、ゆず果汁を加えることで、爽やかに香るやさしい味に仕上げました。『麴しゃぶ鍋用スープ』は、「だし×発酵×肉」のもと、西京みそしょうゆもろみのコクと塩麴のうまみを加え、ほんのり効かせた黄金生姜でシンプルな中に重層的なうまみを感じるスープに仕上げました。



肉で野菜を巻く、しゃぶしゃぶの新スタイル

野菜をいっぱい食べる 野菜巻きしゃぶ鍋用スープ 柑橘あごだし仕立て

野菜をいっぱい食べる 野菜巻きしゃぶ鍋用スープ 鶏がらツナ仕立て

『野菜巻きしゃぶ鍋用スープ 柑橘あごだし仕立て』は、国産焼きあご(トビウオ)と昆布の風味が効いたスープに、3種類の国産柑橘(すだち・ゆず・かぼす)でスッキリとした味わいに仕上げました。『野菜巻きしゃぶ鍋用スープ 鶏がらツナ仕立て』は、鶏がら・野菜・昆布のうまみにツナの風味を効かせ、オリーブオイルでコク深く豊かな風味に仕上げました。



肉によく絡む、スープのうまみとトリュフの風味

ワインしゃぶ鍋用スープ

赤ワインとぶどう果汁に、三温糖でコクを加え、合鴨だしとドライトマトのうまみを合わせました。すき焼き仕立ての赤ワイン風味のなかに、白トリュフオイルが香るしゃぶしゃぶ用スープです。しゃぶしゃぶした肉にスープのうまみ・コクが絡むよう適度な「とろみ」をつけることでなめらかな口当たりが楽しめ、「つけだれ」もいりません。

メは、角切りトマト&とろけるチーズで楽しむ「トマトチーズリゾット」が一押しです。



鍋あと



焦がしバターの香ばしい風味が鼻腔をくすぐる

イカスミしゃぶ鍋用スープ

トマトペーストのベースに、イカスミ・イカアサリでうまみを増し、焦がしバターとコンニクで風味付けした、洋風テイストに溢れるストレートタイプのしゃぶしゃぶ用スープです。



超絶な辛さが去った後の舌に残る「クセになる味」

ハバネロしゃぶ鍋用スープ

赤唐辛子にハバネロを加えることで超激辛味に仕立てた味噌ベースに、豆板醤・コチュジャンでコクとうまみを効かせたストレートタイプのしゃぶしゃぶ用スープです。



開発担当者から一言

東京企画開発課 鶴田 萌

『ゆずしゃぶ鍋用スープ』『麴しゃぶ鍋用スープ』を開発

“つけだれいらず”のしゃぶしゃぶ用スープとして、お肉にしっかりとうまみが絡む満足感にこだわりました。「ゆずしゃぶ」は爽やかなゆずの風味に3種の魚介だしを効かせ、「麴しゃぶ」は塩麴の優しい香りを中心に上品な焼あご等のだしを加えることで、最後まで飽きのこない風味豊かなスープに仕上げています。うまみたっぷりのスープで、是非鍋あとまでお楽しみください。

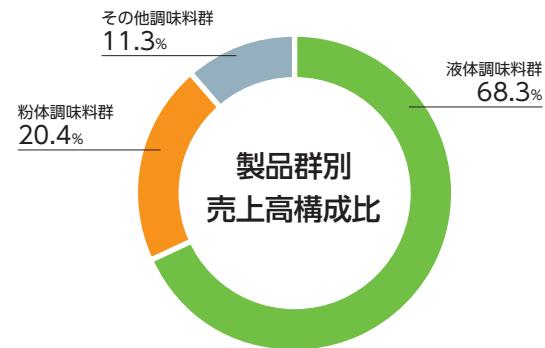


開発担当者から一言

東京企画開発課 田中 大地

『野菜をいっぱい食べる 野菜巻きしゃぶ鍋用スープ 柑橘あごだし仕立て／鶏がらツナ仕立て』を開発

「柑橘あごだし仕立て」は、あごだしと天日塩のうまみに、柑橘(すだち・ゆず・かぼす)の爽やかな香りを効かせ、野菜も肉もさっぱりと食べられるように仕上げました。「鶏がらツナ仕立て」は、子供が好きなツナの風味を効かせ、鶏がら・野菜のうまみを加え、バランスよく仕上げました。スープにオイルを加えることでコクを出し、最後まで野菜を美味しく味わえるように工夫しました。



売上高	106億70百万円	前年同期比	7.1% 増
営業利益	4億89百万円	前年同期比	348.8% 増
経常利益	4億96百万円	前年同期比	192.8% 増
四半期純利益	3億28百万円	前年同期比	222.6% 増

品目別売上状況

液体調味料群

たれ

小売用では主力製品の「焼肉のたれ」類が中容量サイズを中心に好調に推移し、「ジャージャー種の素」「担々種の素」などの「まぜ麺用の素」類が巣ごもり需要の拡大を受け、大きく売上を伸ばしました。業務用ではメニュー開発・提案強化など、新規開拓への取り組みを継続し、惣菜向け製品などで苦戦したものの、堅調に推移しました。

スープ

主力製品の販売強化の取り組みのもと、鍋スープの通年製品化に注力しました。「夏鍋」をテーマに、定番製品を用いた「夏らしい」鍋メニュー提案による販促プロモーションを実施しました。新製品では、気温の影響を受けにくい「しゃぶしゃぶ」に着目した「しゃぶ鍋」関連製品のラインアップを大幅に拡充しました。これにより定番製品は大きく伸長し、「しゃぶ鍋用スープ」も好調な滑り出しとなりました。

ソース

小売用では、主力の「ローストビーフソース」「ステーキソース」などが好調に推移しました。業務用では「アヒージョ風ソース」「照焼ペッパーソース」などの精肉向け製品の伸長もあり、大きく売上を伸ばしました。

ドレッシング

主力の「ちぎりレタสดレッシング」が苦戦し、売上は減少しました。

粉体調味料群

小売用は、「味・塩こしょう」類が詰め替え用を中心に好調に推移しました。また、リニューアルした「もちもちねぎちヂミの素」や、主力の「きのこがおいしい! アヒージョの素」が巣ごもり需要の拡大もあり大きく売上を伸ばしました。業務用は惣菜向け、精肉向けなど、苦戦が続きました。青汁は大変厳しい販売環境のなか、売上は減少しました。

その他調味料群

小売用は、「レタスがおいしい パリ麺サラダ用セット」が好調に推移し、姉妹品の新製品「ぱくぱくキャベツ用セット」とともに売上を牽引しました。「スープはるさめ」類も、新製品「コバラにうれしい 5つの味のスープはるさめ」によりラインアップを充実させ、好調な既存製品とともに売上を伸ばしました。

四半期貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2020年3月31日現在	当第2四半期末 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	6,037	6,951
固定資産	8,171	7,963
有形固定資産	6,884	6,572
無形固定資産	129	167
投資その他の資産	1,157	1,223
資産合計	14,209	14,914
負債の部		
流動負債	3,938	4,459
固定負債	2,083	1,948
負債合計	6,021	6,408
純資産の部		
株主資本	8,130	8,371
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	6,994	7,235
自己株式	△114	△114
評価・換算差額等	57	134
純資産合計	8,188	8,505
負債純資産合計	14,209	14,914

- 流動比率は155.9%と前期末より2.6ポイント向上し、返済能力がアップしております。
- 有形固定資産の減少は減価償却によるものであります。
- 負債の増加は主に仕入債務の増加によるものであります。
- 自己資本比率は57.0%と前期末より若干低下しております。

四半期損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当第2四半期累計 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
売上高	9,960	10,670
売上原価	5,869	6,093
売上総利益	4,091	4,577
販売費及び一般管理費	3,981	4,087
営業利益	109	489
営業外収益	67	14
営業外費用	6	7
経常利益	169	496
特別損失	0	0
税引前四半期純利益	168	495
法人税等	67	167
四半期純利益	101	328

- 売上高は、前年同期を7.1%上回り8期連続の増収となりました。
- 営業利益は増収のなかコストの効率化に努め、増益となりました。
- 経常利益および四半期純利益も営業利益と同様、増益となりました。

 [700g] ワインしゃぶ鍋用スープ	 [160g(80g×2袋)] ゆずしゃぶ鍋用スープ	 [160g(80g×2袋)] 翅しゃぶ鍋用スープ	 [750g] 柑橘とり鍋スープ	 [250g] 肉BarDish 鶏肉のクリーム煮用ソース	 [750g] キムチ鍋スープ
 [750g] 味噌キムチ鍋スープ	 [45g] ハンバーグの素	 [250g] 煮込みハンバーグソース	 [750g] 豚うま鍋スープ	 [480g] 博多もつ鍋スープ 牛もつ入り しょうゆ味	 [480g] 博多もつ鍋スープ 牛もつ入り みそ味
 [500g] 野菜をいっぱい食べる 野菜巻き しゃぶ鍋スープ 柑橘あごだし仕立て	 [500g] 野菜をいっぱい食べる 野菜巻き しゃぶ鍋スープ 鶏がらツナ仕立て	 [180g] 野菜をいっぱい食べる 鍋 信州味噌®鍋用セット	 [750g] 野菜をいっぱい食べる 鍋 じゃが鍋スープ	 [750g] 野菜をいっぱい食べる 鍋 トマトチーズ鍋スープ	 [22g] ばばつと逸品 ごま和えの素
 [85g(固形量65g)] ばくばくおさかな さんまの味噌煮	 [85g(固形量65g)] ばくばくおさかな さんまの醤油煮	 [750g] 鮮魚亭 超特選醤油使用 寄せ鍋スープ だし醤油	 [750g] 鮮魚亭 地鶏だし使用 寄せ鍋スープ 濃厚味噌	 [110g] 厚揚げの みぞれあんのたれ	 [130g] しらたき・糸こんにゃくで作る 麻婆しらたきのたれ
 [700g] イカスミ しゃぶ鍋用スープ	 [700g] ハバネロ しゃぶ鍋用スープ	 [60g(15g×4袋)] 機能性表示食品 ほうれん草チーズ鍋の素	 [60g(15g×4袋)] 機能性表示食品 コーンポタージュ鍋の素		

会社概要

社名 株式会社ダイショー (英訳名)DAISHO CO., LTD.
本社 東京本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
TEL: 03-3626-9321 FAX: 03-3626-9393
福岡本社 〒812-0064 福岡市東区松田1丁目11-17
TEL: 092-611-9321 FAX: 092-611-8288

ホームページアドレス http://www.daisho.co.jp
設立 1966年12月19日
資本金 870百万円
事業内容 たれ、スープ、粉末調味料など製造販売
従業員数 715名

役員

取締役 代表取締役会長CEO 松本 洋助
取締役 社長COO 阿部 孝博
専務取締役 中西 昌至
常務取締役 坂田 恵補
常務取締役 松本 俊一
取締役 古田 龍輔
社外取締役 本郷 伸介
常勤監査役 牛塚 良信
社外監査役 成清 一郎
社外監査役 馬場 正宏

株主優待ご案内



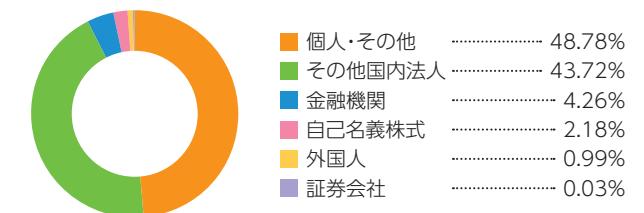
株式の状況

発行可能株式総数 …… 24,000,000株
発行済株式の総数 …… 9,868,800株 (自己株式216,088株を含む)
株主数 …… 18,327名
大株主

株主名	持株数(単位:千株)	持株比率(単位:%)
有限会社山田興産	2,442	24.75
一般財団法人金澤記念育英財団	1,488	15.07
松本賢子	853	8.64
ダイショー従業員持株会	269	2.73
松本洋助	206	2.08
株式会社西日本シティ銀行	180	1.82
株式会社福岡銀行	108	1.09

(注)当社は自己株式216,088株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

株式分布状況



株主優待制度の内容

- 対象となる株主様**
毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載された**100株以上**ご所有の株主の皆様を対象といたします。
- 贈呈品** 自社製品詰め合わせ
● 1,000円相当…100株以上
● 2,000円相当…500株以上
● 3,000円相当…1,000株以上
● 6,000円相当…5,000株以上

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎年6月開催	電話照会先	TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)
剰余金の配当基準日	期末配当…3月31日 中間配当…9月30日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告して定めます。	公告方法	当社のホームページに掲載。 http://www.daisho.co.jp ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株		
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部 (証券コード 2816)

●住所変更、単元未満株式の買い取りのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2816

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」(1809)
MAIL: info@e-kabunushi.com



〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
TEL:03-3626-9321(代)
<http://www.daisho.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



PROJECT-
With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット削減しています。

